

「福井ふるさと元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井ふるさと元気宣言」に掲げられた政策等を実現するため、次に掲げる施策・事業について重点的に実施することを西川一誠知事と合意します。

平成29年4月

福井県知事 西川 一誠
産業労働部長 安倍 暢 宏

29年度の施策

1 革新と創造で伸びゆく福井の企業

◇福井発の「ローカル産業革命」

○産業革新の一貫システム【共同研究】

- ・「ふくいオープンイノベーション推進機構」において、産業技術総合研究所やNEDOとの連携のもと、宇宙分野の開発や介護・福祉・医療分野のロボット開発など、新たな共同研究プロジェクトを進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
共同研究プロジェクト数(累計)	15件	31件	46件	60件

- ・県とIT企業・地元大学等で構成するプロジェクトチームが、IoTを活用した「カイゼン」等のモデルプランを業種別に作成し、中小企業へ活用事例を紹介するとともに、効率化システムの導入や新たなソフトウェア開発への支援策をとりまとめ、企業へのIoT活用を促進します。

- ・「福井ものづくり改善インストラクタースクール」により、生産現場における在庫管理の効率化などの業務改善指導ができる人材を養成します。また、今年度から養成した人材を県内ものづくり企業へ派遣し、業務改善指導を実施することにより、労働生産性の向上を図ります。

目標名	27年度	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
スクール修了生人数(累計)	—	13人	26人	39人

○地域連携・業種横断の技術革新

- ・県民衛星の平成31年度打上げを目指し、打上ロケットへの搭載をJAXAに働きかけます。これに合わせて、衛星の詳細設計を行うとともに、工業技術センターにおいて製造に着手します。
- ・小型人工衛星の製造から試験まで県内で一貫して行える環境を整備し、県内企業による国内外の衛星製造受注や、大学・研究機関等との技術交流につなげます。
- ・県民衛星技術研究組合が取りまとめた衛星データの利活用方策に沿って、関係部局と協力し、市場性の分析・評価を行い、試作ソフトの開発・実証を支援します。
- ・本県の宇宙産業の裾野を拡大するため、衛星用の部材の開発、宇宙服など幅広い分野にわたる研究開発を行い、県内企業の参画を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
宇宙産業への県内企業の参入数(累計)	25社・団体	43社・団体	50社・団体	55社・団体

- ・本県の宇宙産業を支える人材を育成し、県民が宇宙や科学に親しむ活動を促進するため、平成31年度に開催される「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」の具体的な事業展開や受入態勢の整備を進めます。

- ・ 県域を越えた企業連携による新商品開発や県内繊維企業の業種連携による販路拡大等を支援し、繊維製品の売上拡大につなげます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
売上額(累計)	2.1億円	4.9億円	7.4億円	10億円

- ・ 眼鏡や繊維等の技術を活用したウェアラブル製品の販路開拓を支援し、県内企業の関連産業への進出を促進します。また、セミナーや勉強会等の開催により、関連産業の人材育成を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ウェアラブル関連産業への進出数(累計)	17件	37件	57件	80件

- ・ 医療現場見学会等を通じた医療関連製品の開発支援のほか、首都圏の医療機器メーカーへの技術プレゼンテーションにより、医療関連部品での採用を働きかけます。また、新たに介護分野でも現場見学会や製品のモニター調査による製品開発を支援し、医療・介護・健康関連ビジネスの拡大を図ります。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
医療関連の新たな製品化数(累計)	12件	24件	36件	48件

○世代をつなぐ「職人」技術

- ・本県がメイン会場となる平成31年度の「国際工芸サミット（仮称）」開催に向け、伝統工芸産地事業者とデザイナーとの新商品開発やバイヤー等との人的ネットワークの充実を進めます。**交流拡大施策**
- ・サンドーム福井の「ものづくりキャンパス」において、デザインセンターが中心となり、ものづくり企業関係者、伝統工芸職人、学生など幅広い層を対象として、実践的なデザイン講座を開催し、人材を育成します。
- ・越前ものづくりの里プロジェクトについては、「伝統工芸職人塾」による後継者育成を継続するとともに、産地が連携して伝統工芸の魅力を発信し、観光誘客の拡大を図ります。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
伝統工芸職人塾生 (累計)	25人	50人	75人	100人

- ・新たに開館する「越前古窯博物館」において、水野九右衛門コレクションの調査研究や本県ゆかりの岡倉天心を顕彰した茶会を開催するなど、越前焼を始めとする本県の伝統工芸品のブランド力を強化します。

◇地域ビジネスを積極的に応援

○小さな企業の元気応援

- ・小規模企業等の事業計画策定から実行までの一貫した支援を行い、事業承継や生産性向上等の課題解決、各企業の新商品開発等を進めます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
支援企業数(累計)	1,997社	4,067社	6,000社	8,000社

- ・ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスを拠点に、嶺南地域の商工団体と連携して、経営指導から商品開発等の高度な専門的知識を要する相談対応まで、一貫した支援を行います。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
嶺南企業支援数(累計)	141社	303社	450社	600社

- ・県外や海外からの観光客等の消費拡大を促すため、市町と連携し、小規模店においてクレジットカードや電子マネーの利用環境を整備します。

目標名	27年度	28年度	29年度 (目標)	30年度 (目標)
設置店舗数(累計)	—	—	250社	500社

○中小企業者への金融支援

- ・返済条件の見直しを行っている中小企業者を対象とした金融支援制度の創設などのセーフティネット資金の拡充により、中小企業の経営の安定と成長を支援します。

◇県・市町一体の企業誘致

○本社機能の誘致と産業団地の整備促進

- ・年間約千社を訪問し、高速交通ネットワークの充実など県内立地の魅力をPRすることにより、先端産業や食品産業、敦賀港を活用する企業の誘致を進めます。また、企業の本社機能移転等を働きかけ、女性や若者に魅力のある職場を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
立地企業数(累計)	32社	65社	95社	125社
立地企業の業種数	8業種	11業種	10業種	10業種

- ・嶺南地域の産業団地については、敦賀市の田結地区において用地買収と造成工事を進め、30年度の分譲開始を目指します。
- ・奥越地域の産業団地については、大野市の富田地区において、今年度から用地買収に着手し、32年度の分譲開始を目指します。
- ・テクノポート福井については、公共用地の産業用地への転用について検討を進めるとともに、転売可能な未利用地については、情報発信を強化して企業ニーズとのマッチングを行い、利用拡大を促進します。

○公営企業経営戦略の策定

- ・工業用水道事業等について、老朽化・耐震対策の推進や産業用地の拡充等の検討を進め、基本方針や今後10年間の投資・財源計画をまとめた経営戦略を策定し、将来にわたって安定的に運営します。

◇つかめ国内外のビジネス・チャンス【部局連携】

○国体・障スポ、オリンピック・パラリンピックを機にビジネス拡大

- ・国体・障スポ、東京オリ・パラに向け、Made in Fukui の新商品開発を支援します。また、農林水産物を含め調達情報の収集や関係機関等への売込みを強化し、販売拡大につなげます。

目標名	27年度	28年度	29年度	30年度 (目標)
売上額	—	—	—	3億円/年

- ・独自のサービスを提供する県内小売店、飲食店等を紹介するサイトの運用を6月から開始し、福井国体プレ大会参加者等の県内店舗の利用を促進します。

目標名	27年度	28年度	29年度 (目標)	30年度 (目標)
参加店舗数(累計)	—	—	200社	400社

2 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ

◇「ふくい食ブランド」を地産・外商【部局連携】

○首都圏における県産品の販路拡大

- ・情報発信の強化により店舗への集客力を高めるとともに、大手企業でのフェアや高級スーパー等での催事を通じた新規取引先の開拓を行い、「ふくい南青山291」と「食の國 福井館」の売上拡大につなげます。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
アンテナショップ の売上額	3億2,523万円/年	2億9,167万円/年	3億4,000万円/年	4億円/年

- ・専門家による首都圏のニーズに合った商品の開発・改良を進め、流通大手や全国的な商談会への出店を支援し、県産食品の新規取引額を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県産食品の新規取引額	5,070万円/年	5,435万円/年	5,700万円/年	6,000万円/年

○東南アジア等への海外展開の支援

- ・海外事務所等による最新の現地経済・雇用情報の提供や、香港・シンガポール等の現地企業を本県に招聘しての産地視察、アジア主要都市等における展示会等への出展機会の確保などを通し、県内企業の新規輸出、拠点開設を支援します。**交流拡大施策**

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
アジアへの新規輸出(累計)	41件	84件	130件	170件
アジアへの拠点開設(累計)	16件	33件	50件	67件

- ・県内大学や商工団体、福井県国際交流協会等とともに、留学生採用に役立つセミナーや留学生向けの企業内容説明会を開催するほか、米国大学において、若手社員が国際ビジネス力を磨くための研修を実施し、県内企業の海外展開に有用な人材の確保・育成を支援します。

交流拡大施策

目標名	27年度	28年度	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県内企業による留学生採用数	—	—	10人/年	15人/年

3 人口減少に歯止めをかける徹底戦略

◇幸福日本一福井へ 移住・定住戦略【部局連携】

○女性・若者に活躍の場・しごと創造

- ・女性専用の創業相談や、若手起業家からのアドバイスを受けられる機会の提供とともに、新たにビジネスプランをブラッシュアップする創業塾や投資家等を対象とした発表会を開催するなど、実践的かつきめ細やかに創業や事業拡大を支援します。

目標名	27年度	28年度	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県の支援による創業数(累計)	74件	180件	290件	400件

- ・県内金融機関等と協力して新たに投資ファンドを設け、株式上場を目指す成長志向の中堅企業を支援し、若者に魅力ある就職の場を拡大します。

○地場産業の宝庫・福井でチャレンジの夢ひらく

- ・県内経済団体等からの人材情報の収集やヘッドハンティングなどの直接的な働きかけにより、都市圏からの高度な技術やマネジメント能力を有する人材のU・Iターン就職を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
産業人材確保数(累計)	11人	32人	57人	87人

◇進学・就職の地元志向にインセンティブ【部局連携】

○県内企業への就職を促進

- ・合同就職面接会を労働局とともに集中的に開催し、福井のものづくり企業の魅力や暮らしやすさをPRします。また、大学連携センターにジョブカフェの学生への就職支援機能を移し、早期の就職意識付けと県内企業への就職を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
県内大学等卒業者の県内就職者数(2月末時点)	1,249人/年	1,377人/年	1,350人/年	1,350人/年

◇女性の元気が福井の元気

○女性が活躍できる職場環境づくりの推進

- ・経営者協会と協力して企業を直接訪問し、育児に加えて介護と仕事の両立を実現する短時間勤務制度や離職女性の再雇用制度など、女性が働きやすい社内制度の導入を促進します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
導入企業数(累計)	30社	48社	84社	120社

4 福井から人材育成

◇産業人材の育成・誘致システム

○中小企業産業大学校、産業技術専門学院の革新

- ・中小企業産業大学校において、産業技術専門学院の指導員や施設・設備等を活用した連携講座を増設し、産業人材育成機関の機能をさらに強化します。

5 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献

◇みずから伸ばす「健康寿命」

○健康長寿もうひと働き

- ・「シニア人材活躍支援センター」の就職コーディネーターによる専門的な技術や経験を持つシニア人材と県内企業とのマッチングを行い、企業が求める人材を確保します。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
シニア人材マッチング数(累計)	19人	59人	100人	140人

6 美しい県土、楽しく便利なまちの形成

◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】

○敦賀港・福井港の利用促進

- ・ 拡充した助成制度などを利用し、積極的な営業活動を行い、「営業と助成の両面作戦」により、敦賀港から50キロ以遠の県内や滋賀・岐阜などの新規荷主企業を増やすなど、県内港湾への利用転換と取扱貨物量を増やします。

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
敦賀港外貿コンテナの取扱貨物量	29,400TEU/年	30,618TEU/年	30,000TEU/年	35,000TEU/年
福井港の取扱貨物量 (石油製品、重油を除く)	60.5万トン/年	65.2万トン/年	68万トン/年	70万トン/年

○クルーズ客船の誘致・受入

- ・ 海外クルーズ客船の初寄港に向けて、寄港時に歓送迎やおもてなしを実施するなど、受入れ体制を整備するとともに、船社や代理店への売り込みを強化し、海外クルーズ客船の継続寄港を促します。

交流拡大施策

目標名	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
寄港決定回数	5回/年	6回/年	8回/年	10回/年